

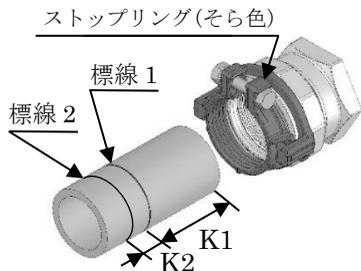
SKX ISO-P50 (キャップ当て締めタイプ)

SKX® 施工手順 (ISO-P用)

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線を 2 本**記入して下さい。

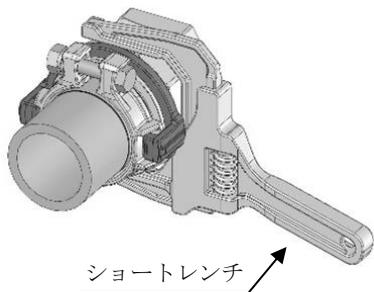
分解せずにストップリングとキャップが接した状態で**標線 1**まで挿し込んで下さい。



- 注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
 ・滑剤の塗布は不要です。
 ・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

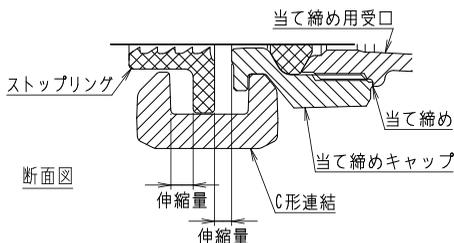
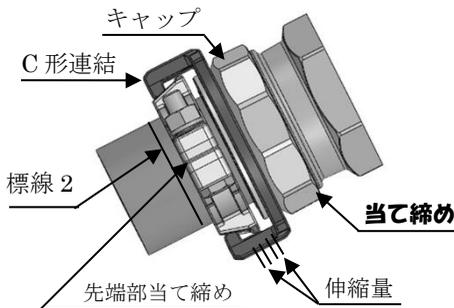
②キャップ本締め

キャップを手締めしてパイプを固定した後、ショートレンチで**キャップを当て締め**して下さい。



③ストップリング本締め

C形連結を管中心方向に**押えながら**、ストップリングを**締めやすい位置**にして下さい。
 ストップリングが 2 本の**標線の間**かつ**両端伸縮量を保った状態**で、ストップリング先端部を**当て締め**して下さい。



- 注 2)ストップリングは当て締め後さらに**締め付けすぎると破損などの不具合**が生じることがあります。
 注 3)管とストップリングが**直角**になるように締め付けて下さい。
 注 4)再施工時は「**施工ハンドブック**」を参照して下さい。

④接合完了

ストップリング端面が**2 本の標線の間**にあることを確認して下さい。

キャップとストップリングの**締め忘れ**を確認して下さい。

《パイプ取り外し》

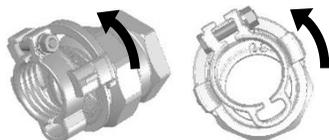
・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを緩め、ストップリング締付部を開放ナットで広げることにより、パイプと**分離可能(分解不要)**です。

管 呼び径	SR 呼び径 (そら色)	本体・ キャップ 呼び径	K (mm)		キャップ 〔参考締付トルク〕 N・m	ストップリング 〔参考締付トルク〕 N・m	六角 対辺	
			K1	K2				
50	ISO-P50	ISO-P50 (D50)	75	+5 -0	5	当て締め (45)	当て締め (16)	17

SKXストップリング (SR) 交換手順

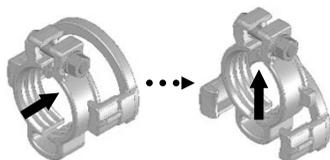
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外して下さい。



②ストップリング取り外し

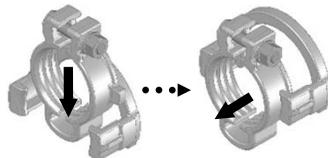
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜いて下さい。



③ストップリング交換

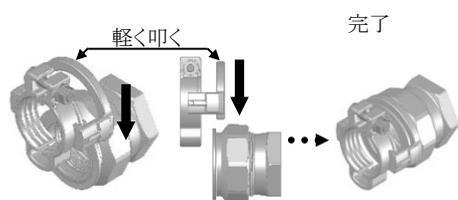
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離して下さい。

※下図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意して下さい。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れます。



パイプ取り外し方法

ストップリングの締付ボルト・ナットとキャップを緩め、ストップリング締付部を開放ナット(呼び径50)で広げることによりパイプとの分離が可能です。(分解不要)

